

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (NO.1)

2005.5.10

もくじ

1. 4 月度 (第 1 回) ボランティア活動の報告
2. 4 月度 (第 2 回) 春の一般公開 ボランティア活動の報告
3. 会員証の発行および連絡方法の確認について
4. 5 月度活動：研修とヒノキ、スギ苗の成長測定のご案内
5. 6 月度活動：下刈りと苗畑除草のご案内
6. 平成 17 年度 役員について

4 月度 (第 1 回) ボランティア活動の報告

ボランティア 岩崎 寿一

平成 17 年 4 月 12 日、今日は「千葉演習林ボランティア会 Abies」として初めての定例活動日である。外を見ると雨降りであるが、今まで、ボランティアの活動日が雨で自習になった事は無かったような気がする。演習林の現場に行けば、雨は上がっていると期待して家をでる。

スギの花粉が大量に飛んでいる今春だが、今日は非常に少ない。

清澄作業所の講義室にボランティア 6 名が定刻の 9 時 40 分に集合。まず職員の村川さんの挨拶とこの度、北海道演習林から、千葉演習林へ戻った福岡さんの紹介がある。福岡さんは 3 年ぶりに千葉へ戻ってこられ、北海道との仕事のやり方に違いが有り、“所変われば”と言う事がある、と話された事が印象に残った。

続いて大塚さんから 今日の予定の説明があった。

昨日からの雨で現場は滑りやすくなっている為、安全を重視し、予定していたシカ防護柵の設置作業を中止し、午前中は講義室での講義と作業、午後は札幌作業所へ移動して「ぶり縄」作りの体験作業となった。

まず、大塚さんから「獣害防止柵」について技術的な説明があった。超強力繊維ダイニーマ (スチールの 6 倍の強度) 製のネットを使って、シカやウサギ等のネットに対する対噛み切り効果を確認する為、実験的に設置する予定でしたとのこと。今回は作業が出来ず誠に残念でした。

次に、ナタやカマなど作業工具の取り扱いについて注意がありました。基本は自分の足や体に刃を向けて振り下ろしてはいけない。刃がすべて自分自身を傷つける事故が多いから気を付ける様にとの事であった。最後は番号札作りに針金を結びつける作業。簡単ですが

数が多く人数で勝負、我々の得意とする所です。

昼食後、札郷作業所に移動して「ぶり縄」作りの実習である。「ぶり縄」とは樹木に登るために昔から使われている道具で、丈夫で長い縄の両端に足をのせる木の棒がとりつけられているものである。樹木に巻きつける棒の部分を次々に上にすることにより登ることができる。



今日の先生は清澄作業所の職員の唐鎌さん。札郷作業所の鈴木さんと阿達さんも挑戦します。シュロの木から剥いだ皮の部分から、縄になる繊維部分を取りだして、手のひらでシュロの繊維を絢(な)うのですが、なかなかうまくいきません。唐鎌さんがお手本見せてくれましたが、見る見る縄が出来上がってきます。昔の人は、縄を絢う事が日常的事だった。工業製品にばかり頼っている私には感慨が残りました。練習をするつもりで、シュロの皮を少しずつ持ち帰りました。

清澄宿舎に 17 時頃帰着。18 時から楽しみにしている食事です。ビールで乾杯。会員も経験豊かなメンバーなので話題も豊富、冷蔵庫や電子レンジの商品開発の苦労話、IH(電磁調理器)の効能、ボランティアの話、外国で風呂敷が大変評判が良かった話など盛り上がります。外からトントンと窓をたたく音大塚さんでした。お酒とおつまみの差し入れです。ありがとうございました。

話は尽きず、場所を移して飲み直し。皆さんの酔いに任せてのエピソードを少しご紹介します。

藤田(貴)さん： 今年提出した卒論について紹介してくれました。題名「トビムシとシロアリの共生」について。演習林に通って研究し論文にされました。奥が深い課題の為、これからも研究を続けるとの事でした。面白い話でした。

相川さん； 今回からボランティア会 Abies の一員として参加してくれました。今まで通り我々の面倒をみて下さり、話も聞き役に徹していました。近々結婚されるとの話ですが、余り根掘り葉掘り聞き出す勇気も無くて、気になりながらそのままになってしまいました。次回のチャンスを楽しみに致します。

恵さん； お嬢さんと一緒に房総の山はほとんど征服したと言うほどの山好き。演習林で、もっともっと森の事を勉強したいと、意欲満満。できる限り参加します、と力強いお話でした。

西山さん； 館山にお住いで、海の仕事がされていたとか。昔の仕事仲間から、“今になって何故 山(演習林)に行くの？”と問われて曰く、“海は山からの恵で生きているのだ。海の仕事で卒業した今、山に恩返しをする為だ。”とのことでした。

石川さん； いつも予定はびっしり、自然を楽しむ中で森や里山がらみのボランティアで忙しく活動して居られる、最近千葉県立中央博物館生態園のボランティア会でやっている自然体験ゲーム“森の調査隊”などを通じて子供たちとの付き合いも多くなっている。自然との付き合いが生き甲斐との事。ボランティア会 Abies の事務局長の仕事は大変でしょう、との話に対し、“どんなことでも楽しみにして、全く苦にしないで仕事をするのが私の

「気質、何でもやりますから云って下さい。」との事。頼りになります。
まだまだお酒もつまみもまだ残っていますが、常連メンバーの阿部さんが突然の入院で不参加となり誠に残念でありました。今夜は22時で切り上げます。

平成17年 4月13日 雨

本日、田生^{たのう}さんが日帰り参加する。

清澄宿舎での朝の食事の後、9時に職員
の福岡さんが掃除道具を持って清澄作業
所に現れました。雨の場合は隣の森林博物
資料館の大掃除と決まっておりました。2
階建ての博物館の中には鳥獣標本、昆虫標
本、木の標本、大木のスギの切り株、林業
で使う道具、森の写真等が沢山展示されて
います。一つ一つを勉強しながらの掃除で
した。けっこう楽しい経験です。



窓ガラス、標本のガラスケース拭き、埃落とし、床掃除など中学生時代の大掃除を思い出しながらの作業でした。

昼食は宿舎の食堂を使わせて頂き、ゆっくりと、取りました。話は尽きなかったのですが、次回の演習林開放日の天気が良くなる事を祈って、14時頃に解散しました。

4月度 (第2回) ボランティア活動の報告 ～春の一般公開～

ボランティア 近藤 禮子

平成17年4月16日(土)から17日(日)
の2日間、東大千葉演習林の猪ノ川林道(黒
滝から地蔵峠)の一般公開があり、入林者は
16日96名、17日284名計381名でした。
16日が少ないのは天気予報で午後雷がある
などとの予想 実際はありませんでしたが
があったせいかとも思われます。

ボランティアメンバーの参加は16日7名、
17日5名であり、私は17日の日に手伝い
に行ってきました。



私たち、ボランティアのメンバーは黒滝ゲートと柚ノ木歩道下で入林者の記帳とカウント
をとること、公開区間でのマナー指導やごみ拾いを担当しました。

今回は地蔵峠まで登った入林者も多かったようです。一般公開の都度、演習林を訪れるという女性連れ、また、紅葉や新緑の時期には奥多摩や秩父まで出かけていたという男性は『こんな美しい所が身近にあったのか！』と今まで知らなかったのが残念そうでした。

こんな声を聞くと嬉しくなります。日々、演習林の手入れをされている職員の方々のご苦労があってこそその美しい新緑です。

自分の楽しみでチョッピリお手伝いをするだけの私は申し訳ないと思うばかりです。

春の一般公開は秋に比べて入林者も少なめで余裕もあり、職員や森林インストラクターの会の方と一緒に仕事をしながら、その豊富な知識と経験を十分に聞けるのが楽しみです。

稍でキセキレイが美しい声でさえずり、林道の壁にはタチツボスミレやヤマドリソウの青紫色の花が一面に咲く中で、木漏れ日の樹林を歩きながら、今年もまた、カジカ蛙の声を聞き、サンショウ魚の卵を見つけ.....自然の営みに思いをはせた1日でした。

会員証の発行及び連絡方法についての確認

* 会員証の発行について

平成17年に登録して下さった会員への会員証を発行します。

この会員証は活動参加時の名札を兼ねていますので、活動に参加されるときには忘れずにお持ちください。

* 会員への連絡方法について

活動案内など会員の皆様への連絡はEメール（Eメールアドレスの連絡のあった会員）または郵送・FAXのどちらかでおこなっています。

（事務局で認識している連絡方法は下記参照）

Eメールの登録になっている会員でも実際連絡が伝わってない、または連絡方法を変えて欲しい場合、事務局に教えてください。

* 平成17年度会員名及び連絡方法

敬称略 E：Eメール 郵：Faxまたは郵便

酒巻 寛友(郵)、立ヶ谷 直津子(郵)、西山 康利(E)、原口 志津夫(E)、岩崎 寿一(E)、岩崎 香代子(E)、阿倍 孝晴(E)、藻寄 栄一(郵)、藻寄 澄江(郵)、藤田 和孝(E)、米倉 義男(郵)、佐々木 健(郵)、佐々木 文子(郵)、日高 雄二(E)、近藤 吉一(郵)、近藤 禮子(郵)、藤田 貴樹(E)、淵辺 文明(E) 石川 輝雄(E)、村上 雅彦(E)、青木 俊一(郵)、恵 京子(E)、恵 彩(E)、田生 健一(E)、相川美絵子(E)、大竹 秀一(E)、伊ヶ崎 由紀子(E)
東大演習林：村川 功雄(E)、福岡 哲(E)

5 月度 研修および活動のご案内

造林研修会とヒノキ、スギ苗の成長測定

1 日目は千葉演習林の職員が受けた研修の報告や、学会で発表した内容を聞く「造林研修会」を聴講します。その夜にはたくさんの職員も参加する懇親会がありますので、交流のよい機会となるでしょう。2 日目は臨時活動として、植栽後 2~5 年経過したスギ・ヒノキの生長測定を行います。

<u>日 時</u>	平成 17 年 5 月 23 日 (月) ~ 24 日 (火) (宿泊・日帰り参加も可)
<u>集 合</u>	清澄講義室 23 日 13:00 (清澄作業所構内に入りすぐ左手にあります)
<u>解 散</u>	清澄作業所 24 日 16:00 頃
<u>内 容</u>	*5 月 23 日 13:00~17:00 頃 造林研修会：職員の研修報告を聞く *5 月 24 日 9:00~16:00 頃まで ヒノキやスギの苗の成長測定
<u>人 数</u>	23 日 定員なし 24 日 定員 5 名程度 (原則として先着順)
<u>宿泊場所</u>	清澄学生宿舎 (04-7094-1990)
<u>参加費</u>	研修会のみ - 無料、懇親会まで - 1,000 円、 宿泊 (懇親会・朝食・昼食有) - 2,340 円 24 日のみ - 無料 (昼食・飲み物を持参してください)
<u>持ち物</u>	(23 日) 筆記用具 (24 日) 野外活動ができる服装、靴 (登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、 滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、 マイカップ、会員証など
<u>雨天時</u>	状況により対応
<u>受付期間</u>	5 月 13 日 (金) ~ 5 月 19 日 (木)
<u>申込方法</u>	電話、FAX、E-mail のいずれか
<u>申込、お問い合わせ先</u>	千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄 (連絡先は活動要綱をご覧ください)

6 月度 定例活動のご案内

下刈り・苗畑除草

<u>日 時</u>	平成 17 年 6 月 16 日 (木) ~ 17 日 (金) (宿泊、1 日のみの参加も可)
<u>集 合</u>	清澄作業所 16 日 9:40
<u>解 散</u>	清澄作業所 17 日 16:00 頃
<u>内 容</u>	16 日 下刈り 17 日 苗畑除草 (天候や都合により変更する場合があります)

- 作業場所** 未定（決まり次第、参加者に連絡します）
- 宿泊場所** 清澄学生宿舎（04-7094-1990）
- 宿泊費** 2,240 円（施設使用料 540 円、夕食 900 円、朝食 400 円、昼食 400 円）
- 持ち物** 1 日目の昼食、飲み物、野外活動ができる服装、靴（登山靴などしっかりしたものや地下足袋）、滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、マイカップ、宿泊用の道具、会員証、帽子、ゴム手袋など
- 定員** 9 名程度（原則として申込先着順）
- 受付期間** 5 月 19 日（木）～6 月 2 日（木）
- 申込方法** 電話、FAX、E-mail のいずれかでお申込下さい。
- ご注意** 熱中症にならないよう、こまめに水分をとりましょう。
除草では日が照り付けますので、帽子・首巻タオルなど直射日光に当たらないような装備を忘れずに。
- キャンセル** なるべく早めに、宿泊の都合のため遅くとも 2 日前までご連絡下さい。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies
事務局 石川 輝雄 宛
（連絡先は活動要綱をご覧ください）
（参加には年度ごとの会員登録が必要になります。）

平成 17 年度役員について

平成 17 年度の役員を紹介します。会員の皆様には色々のご協力お願いするとともに、ご意見や希望がありましたら役員宛に申し出てください。

会長 岩崎 寿一 副会長 酒巻 寛友
事務局長 石川 輝雄 会計担当 西山 康利 事務一般 藤田 貴樹
広報（HP・メールリングリスト）相川 美絵子 広報（通信）原口 志津夫
会計監査 近藤 禮子
企画 阿倍 孝晴 恵 京子

千葉演習林ボランティア会 Abies通信 No.1 2005/5/10 発行

* 事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102 石川輝雄

* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 TEL:04-7094-0621